



◆「読者のおたより」欄にもありますように、前号の『ニュース』はかなりのご好評を頂き嬉しく思っております。載せ切れなかったのですが、ほかにも同様なご意見が、振替用紙の通信欄などで多数寄せられています。

◆今号には、巻頭に日高六郎さんの原稿を頂きました。米寿を迎えられた日高さんは、このほど『戦争のなかで考えたこと―ある家族の物語』という著書を出版されました（筑摩書房）。帯には「記憶と回想、満州事変前夜から終戦まで」とあります。前号の澤地久枝さんの講演記録を読んで、当時の歴史のことがよくわかったという感想をたくさん頂きましたが、この日高さんの新著では、まさにその時代を、少年、青年として生きた日高さんの体験とそこで考えたことが、実にビビッドに綴られており、これは絶対にお勧めです。

◆ 昨年の本誌87号での樋口篤三さんと戸井十月さんのキューバについての対談は、その明るさで好評だったのですが、今号の原稿では、その樋口さんのお兄さんに対する悲痛な思いが胸に刺さります。8月上旬に同時代社から出版される著書『靖国神社に異議あり―「神」となった三人の兄に』は、本文中にも触れられている『恒久平和の礎に』の大幅増補改訂版です。ご期待下さい。

◆ この二カ月の間も、憂うべきことが続きました。ロンドンでの連続爆発、イラク自衛隊基地への攻撃連続、「自衛軍」を明記した自民党憲法改定案、大田原市教育委員会の扶桑社教科書採択決定、「自立支援法」など障害者や高齢者へのさまざまな援助切り下げや費用値上げ、道路公団幹部らの談合、三菱など大企業の相次ぐ不正……。前号の鶴見さんのお話ではありませんが、この国が「滅びへの道」をたどりつつあるような思いが消せません。

発送後に、その号の執筆者の一人を招いて「読者懇談会」を定期的に開催することになりました。初回は諸橋泰樹さんです。（本誌同封のチラシをご覧ください。）東京近郊の読者の方の多数ご参加を期待しております。

◆ 梅雨もあけました。暑さに負けず、お元気で過ごして下さいませよう！

◆ 9月から、会の新企画として、『ニュース』

会計係より 前期の赤字を解消した上、会基本会計が80万円以上もの黒字となりました。新規入会の方がこの二カ月で170人以上もあり、会費収入が激増したことと多額のカンパをお送りいただいたためです。ありがとうございます。

市民の意見 30の会・東京 2005年5月～6月 会計	
<b>1. 収入</b>	
一般会費	580,000
協力会費	169,200
敬老協力会費	4,500
敬老会費	121,500
身障者会費	6,000
(会費収入小計)	881,200
カンパ	409,665
ニュース販売	8,800
バッジ等販売	153,290
条約寄金	1,500
雑収入	20
立替金精算(*1)	149,872
預かり金(*2)	4,000
<b>収入計</b>	<b>1,608,347</b>
<b>2. 支出</b>	
印刷費(*3)	323,964
発送費(*4)	107,392
通信費(*5)	51,236
事務用品	7,382
編集費(*6)	3,000
制作費(*7)	43,050
交通・運搬費	740
賛同費(*8)	4,000
事務所費(*9)	232,480
光熱費	15,102
送金手数料	1,826
預り金精算(*10)	272,500
雑費	500
<b>支出計</b>	<b>1,063,172</b>
<b>3. 収支</b>	<b>+545,175</b>
前期からの繰越	3,042,945
次期への繰越	3,588,120
<b>残高の内訳</b>	
会基本会計	1,883,629
条約基金	165,715
次期意見広告	1,326
F/I 基金	1,498,240
預り金	39,210
<b>計</b>	<b>3,588,120</b>

注(\*1)内、4/11 集会費用の意見広告運動分担分 ¥133,593、光熱費と電話料の意見広告運動分担分 ¥16,279 (\*2) 反改憲運動通信代金(\*3)内、ニュース No.90 増刷分を含め ¥179,655 振替用紙 ¥41,330 発送用封筒 ¥102,979 (\*4)内、ニュース No.90 発送費 ¥90,568 (\*5)内、biglobe ¥4,200 他は電話料(\*6) DVD『軍需工場は、今』購入(\*7) 殺すなシール増刷(\*8) 反改憲運動通信へ(\*9)内、火災保険料 ¥12,480 (\*10)内、意見広告運動へ ¥266,500 プーメランネットへ 6,000

(Y Y)